

森林整備に貢献するとともに 緊急時の代替路にもなる林道を整備する

【対策】4 山地災害危険地区等における森林整備対策

対策概要：山地災害危険地区や重要なインフラ周辺等のうち特に緊要度の高いエリアや氾濫した河川上流域等において、森林の防災・保水機能を発揮させる間伐等の森林整備、林業・山村地域における、災害時に備えた特に重要な林道の整備・強化等を行う。（流域治水の取組等と連携した対策を含む）

府省庁名：農林水産省

【事例】山村強靱化林道整備事業 越前西部四号線

- 実施主体：福井県福井市
- 実施場所：福井県福井市
- 事業概要：土砂災害が発生しやすい危険地区（国山町集落）がある中山間地域において、災害時の交通確保及び平時の森林整備のため、総延長10,266mに及ぶ地域の幹線となる林道である、「越前西部四号線」を整備し、令和4年度に全線が開通。
- 事業費：約11億円（S60～R4）
（うち5か年加速化対策（加速化・深化分）4,620万円）
- 効果：本林道は、市道等に2箇所接続しており、特に県市道が被災した場合の国山町集落の緊急時の代替路として期待されている。
また、当該林道の開通により、819haの森林において、間伐や主伐後の造林等の森林整備が可能となった。今後、持続的な森林整備がなされることで、森林の多面的機能の発揮が期待される。

林道終点付近の国山町集落



林道の遠景（R4年度施工箇所）



林道の近景（R4年度施工箇所）

